



(公財)海上保安協会主催 第5回「海上保安の日」俳句コンテスト一般の部 海上保安庁長官賞を受賞の記念撮影
初代海上保安庁長官 久保武雄像前(開新高等学校)にて、写真左から津村熊本海上保安部長、受賞された槻木
俊彦氏、開新高校理事長 甲斐達也氏、海上保安協会熊本県支部 米原小百合氏)

令和6度 後期活動ダイジェスト

発行：公益財団法人 海上保安協会熊本県支部

編集：熊本海上保安部 TEL0964-52-3103

- 八代海上保安署「巡視艇なつかぜ」就役 -

令和7年1月22日、八代海上保安署 巡視艇「なつかぜ」が解役となり、2月5日、新造巡視艇「なつかぜ」が就役し、新たに配属されました。2月22日、八代グランドホテルにおいて就役披露式および見学会が行われました。式典に参加された皆様には海上保安協会熊本県支部から記念品をお渡ししました。



写真左から、畠中剛 巡視艇なつかぜ船長、津村直文 熊本海上保安部長、木村博幸 熊本県海難救助隊理事長、宮川和己 熊本県南広域本部総務部長、高岡利治 水俣市長、守田憲史 宇城市長/海上保安協会熊本県支部長、金子恭之 衆議院議員/自民党海上保安議員連盟会長、池田和貴 熊本県議会議員/熊本県議会海上保安議員連盟会長、中村博生 八代市長、河村邦比兒 熊本日日新聞社会長/海上保安友の会熊本地方支部長、赤松宏樹 第十管区海上保安本部長、重原和仁 八代海上保安署長



来賓祝辞 金子恭之衆議院議員



巡視艇なつかぜ職員紹介



巡視艇なつかぜ船長に花束贈呈した
熊本市立秋津小4年 山下洸ノ輔さん
(写真中央)

「巡視艇なつかぜ」の要目等

所 属	：八代海上保安署	番 号	：CL212
船 名	：なつかぜ	就 役 日	：令和7年2月5日
総トン数	：約26トン	長 さ	：約20メートル
速 力	：30ノット以上 (約55Km/h以上)	幅	：約4.5メートル

船名の由来：令和7年1月22日に解役となった巡視艇「なつかぜ」の船名を引継いだもので、立夏以降、夏に吹く風である「夏の風」に由来します。

- 海洋環境図画表彰 -

「未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール」は、将来を担う全国の小・中学生の子供たちに、海洋環境保全思想の普及を図るとともに、海上保安業務への理解の促進を図ることを目的として、公益財団法人海上保安協会と共催で平成12年から毎年開催してきました。熊本海上保安部へ応募がありました多数の作品の中から、下記の作品が受賞となりました。海上保安庁は、今後とも海洋環境保全教室等を通じて啓発活動に尽力してまいります。受賞された皆様には、海上保安協会熊本県支部から副賞をお渡ししました。

写真左から

- 苓北町立志岐小学校 6年 村岡 樹曖さん
- 苓北町立志岐小学校 4年 内門 大士さん
- 熊本市立龍田中学校 2年 田中 稜也さん(代理)
- 天草市立有明小学校 1年 井上 想乃さん



第十管区海上保安本部長賞



苓北町立 志岐小学校6年
岡野 睦 さん

海上保安協会南九州地方本部長賞



熊本市立 龍田中学校2年
内門 大士 さん

第十管区海上保安本部優秀賞



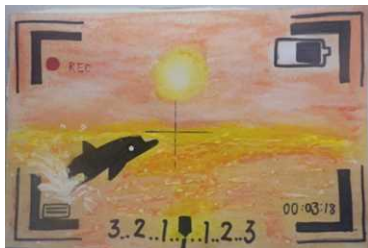
宇城市立 三角中学校3年
上原 ここみ さん

熊本海上保安部長賞



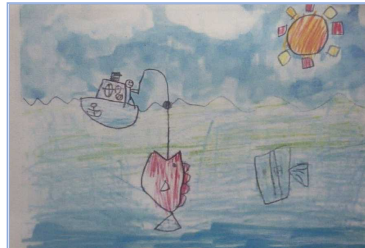
宇城市立 三角中学校 3年
西村 青里夏 さん

熊本海上保安部長賞



苓北町立 志岐小学校 6年
村岡 樹曖 さん

熊本海上保安部長賞



天草市立有明小学校 1年
井上 想乃 さん

海上保安協会 熊本県支部長賞



苓北町立 志岐小学校 4年
田中 稜也 さん

選考風景



協会熊本県支部長

熊本海上保安部長



表彰式の後には、巡視艇ひごかぜによる体験航海を実施しました。

表彰伝達



令和6年9月4日、平成11年から海上安全指導員として当庁業務にご協力いただいている石川 洋一氏（特別養護老人ホーム豊洋園）に対し、長官表彰の伝達式を行いました。



11月1日の「灯台記念日」に伴い、灯火監視協力者としてご協力いただいた4名のみなさまに対し、それぞれ第十管区海上保安本部長表彰、同本部交通部長感謝状、熊本海上保安部長感謝状の伝達式を行いました。



熊本海上保安部長感謝状 竹本 健一氏

- 第十管区海上保安本部長表彰 江口 昭一 氏 (写真下段左から2番目)
- 第十管区海上保安本部長表彰 黒木 英利 氏 (写真下段左から3番目)
- 第十管区海上保安本部交通部長感謝状 佐々木 茂喜 氏 (写真下段右から2番目)

業務体験

令和6年10月5日、熊本海上保安部は、「くまTOMOサポーター」である県内小・中学生26名に対し、海上保安官のお仕事体験イベントを開催し、体験航海・救難業務体験・指紋採取体験・交通業務説明を行いました。修了者には、熊本海上保安部長から一人一人に対して修了証書を授与しました。受け取った子供たちからは満面の笑みがこぼれていました。



- くまTOMO -
毎週日曜日の熊本日日新聞朝刊に掲載されています。子供たち（小中学生）の社会への関心を高め、生きる力をはぐみ、将来の熊本の発展に貢献することを目指しています。国内外の最新ニュースに加えて、地域のニュースもやさしく解説されています。

海上保安業務

熊本県水難救済会三角救難所水難訓練



令和6年11月10日、熊本県水難救済会三角救難所からの依頼を受け、若宮海水浴場において、宇城広域連合南消防署三角分署とともに、心肺蘇生法指導や救命索発射器の操法訓練を実施しました。

熊本県総合防災訓練



令和6年10月5日、熊本県防災センターにおいて、日奈久断層に起因する最大震度7の地震が発生し、天草地域等が孤立したとの想定による熊本県総合防災訓練(図上訓練)に参加しました。物資輸送や急患搬送の手順を改めて確認するとともに、関係機関との連携強化を図ることができました。

年末年始特別警戒及び安全指導



出動式状況（熊本海上保安部長挨拶）

令和6年12月10日、熊本港において年末年始特別警戒及び安全指導実施期間の初日に、熊本フェリーに対する、安全総点検を実施しました。熊本運輸支局と合同で安全設備の点検を行うとともに、旅客ターミナル警戒、不審物検索等を行いました。



令和6年12月19日、水俣港及び茂道漁港において、熊本県総合防災訓練の一環として、日奈久断層帯を起因とする最大震度7の地震及び津波による水俣地区の孤立等を想定した熊本県総合防災訓練に参画しました。巡視船さつまでの通信事業者4社との通信資機材積載訓練、ヘリコプターなど艇による人命救助訓練を行い、関係機関との連携及び防災体制の強化を図りました。



令和6年12月12日、令和6年度海上保安協力員連絡会議を開催し、意見交換を行いました。海上防犯及び海洋環境保全活動等の推進を強化していくことで、より一層の連携強化が図られました。



令和6年12月9日、熊本県議会海上保安議員連盟会員の皆様へ熊本海上保安部長、天草海上保安署長から海上保安情勢などについての説明の後、意見交換を行いました。

安全推進活動



令和6年10月1日～10月31日の秋季安全推進活動期間中、県内各所において、海難防止活動を展開しました。引き続き、熊本管内における事故ゼロに向け、安全啓発活動を実施していきます。

秋季安全推進活動期間中、熊本管内で発生した海難は船舶6件、人身0件でした

さようなら 肥後大泊港防波堤灯台



肥後大泊港防波堤灯台
昭和48年11月20日設置



別れを惜しむ
灯火監視協力者の佐々木さん

令和6年9月17日、肥後大泊港（熊本県葦北郡津奈木町）において、当部が所管する「肥後大泊港防波堤灯台」が約50年の歴史に幕を下ろしました。同灯台は、利用者が減少し、必要性が低下したことから、関係者と調整のうえ廃止に至ったものです。

各種イベント



令和6年10月25日、八代外港クルーズ専用岸壁に係留中の巡視船さつまにおいて、海上保安友の会熊本地方支部会員のみなさまへ初の潜水訓練見学会を行いました。元機動救難士による潜水資機材及び訓練の状況についての説明や潜水土と記念撮影を行いました。



令和6年10月19日、熊本市花畑広場で開催された「ぼうさいこくたい2024in熊本」に参加しました。内閣府等主催の防災推進国民大会が九州では初となる熊本県で開催され、当部から防災パネル展示及びVRゴーグルによる海保業務体験を行いました。全国から408の団体が出展し、多くの来場者があり、国民の防災意識及び当庁の認知度向上に繋げることができました。

学生募集活動



令和6年9月18日、熊本市総合体育館（ナースパワーアリーナ）で、県内の高校生を対象とした進路相談会に参加しました。熊本県内の高校から生徒586名、教員27名、計613名が来場しました。

令和6年12月11日、グランメッセ熊本において、職業体験フェスタin熊本に参加し、学生募集活動を行いました。熊本県内の高校1、2年生（14校、約2,000名来場）に対し、ブースを訪れた200名を超える生徒と面談しました。

令和7年1月18日、熊本地方合同庁舎において自衛隊主催の公安系公務員説明会に参加しました。参加機関：海保、自衛隊、警察、消防、刑務官、法務教官から



灯台コーナー



赤灯台に鳥の巣!?

某日、当部 OB から「通詞島近くで船釣りに行ったら、小亀岩の赤灯台に大きな鳥の巣ができていて、灯台の明かりに影響があるといけないと思い連絡した。ミサゴと思われる鳥が2羽いて、近づいたら鳴いて威嚇してきた」との連絡が当部へ入りました。

通詞島周辺の航路標識（小亀岩灯標、五通礁灯標、七通瀬灯標）には、毎年のように鳥の巣が作られており、巣を作らせないよう対策を施したばかりの今回の出来事。

小亀岩灯標に鳥の巣が作られたのは、昨年に引き続いての事であり、職員からは「せっかくの対策が・・・」と嘆きの声がか！（※ミサゴは、同じ場所に巣を作る習性あり!?)

後日、交通課職員にて、当該標識の付近施設から望遠鏡を使用して確認したところ、連絡のあったとおり、灯標の踊場（おどりば）に鳥の巣ができており、また、すでにヒナがかえっていたのです。

今回、巣を作った鳥は、おそらくミサゴと思われ、ミサゴは「準絶滅危惧種」の保護鳥に指定されているため、ヒナが巣立つまで鳥の巣を撤去することは出来ません。

やむを得ず、ヒナが巣立つのを見守るしかなく、灯火には影響が無いものの、巣の一部が太陽電池パネル（蓄電池を充電する機器）にかかっており、蓄電池への充電不足も心配されるところですが、無事にヒナが巣立つことと、灯りが消えないことを願うばかりです。（つづく!?)



小亀岩灯標

ヒナ（と思われる） 親鳥（と思われる）



ミサゴ（別名：ウオタカ、鳥綱タカ目ミサゴ科ミサゴ属に分類される鳥類）



ミサゴの巣（昨年作られた巣）

小亀岩灯標（こがめいわとうひょう）

- ・所在地：熊本県天草市（小亀岩）
- ・初点灯：昭和49年6月15日
- ・塗色：赤色
- ・灯質：モール符号赤光 毎8秒にD
- ・光度：25cd（カンデラ）
- ・光達距離：3.5海里（約6.5Km）
- ・高さ：12m（地上～頂部）
- ・光源：LED（発光ダイオード）
- ・電源：自然エネルギー（太陽電池）



詳しくはこちら

海上保安庁 採用

検索



愛
し
ま
す
！
守
り
ま
す
！
日
本
の
海

海上保安官募集

2025年度採用試験のスケジュール

幹部海上保安官になる→海上保安大学校

幹部海上保安官として様々なフィールドで活躍	インターネット受付期間	第一次試験
大卒程度 海上保安官採用試験 受付終了	2/20(木)～3/24(月)	5/25(日)
高卒程度 海上保安大学校学生採用試験	8/21(木)～9/8(月)	10/25(土)、26(日)

現場第一線の海上保安官になる→海上保安学校

各分野のエキスパートとして現場最前線で活躍	インターネット受付期間	第一次試験
高卒程度 海上保安学校学生採用試験(特別)	2/20(木)～3/13(木)	5/11(日)
高卒程度 海上保安学校学生採用試験	7/11(金)～7/24(木)	9/28(日)

2025年度採用試験から、試験制度の一部が下記のとおり変更となります

- 全採用試験共通:身長および体重にかかる制限の廃止 ※航空課程を除く
- 海上保安学校学生採用試験:海洋科学課程の試験科目の見直し(物理の削除)



海上保安庁
JAPAN COAST GUARD

